



デジタル4/3/2チャンネル パワーアンプ

XA4000

取付説明書

090003-29850700

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故や怪我の原因となる場合があります。本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様へ

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

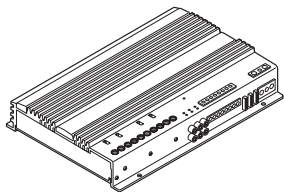
もくじ

取り付ける前に	構成部品	2
	安全に正しくお使いいただくために	3
	取り付け前のアドバイス	5
接続について	各部の名称と働き	6
	接続例	8
取り付けについて	パワーアンプの取り付け	1 3
仕様	周波数特性グラフ	1 4

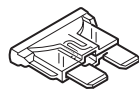
構成部品

作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

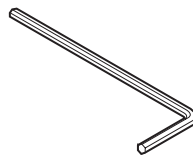
本体関係



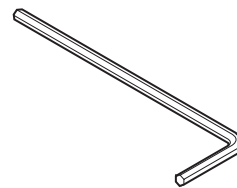
① パワーアンプ本体
× 1



② ヒューズ
× 3 (予備: 30A)



③ 六角レンチ (小)
× 1



④ 六角レンチ (大)
× 1



⑤ タッピングスクリュー
× 4

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機取り付けのために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと

警告

- 本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対には使用しない。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子をはずす。プラス ⊕ とマイナス ⊖ 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。
- 本機を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機を取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- スピーカ端子が車両部品、ボデー等と干渉や接触しないように取り付ける。事故・火災・感電の原因となります。

注意

- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類が金属部に触れないように配線してください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

取り付け前のアドバイス

👉 アドバイス

- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください。
- 取り付け、固定する前に仮配線を行い本機が正常に動作するか確認してください。もし、正常に動作しない場合は、取り付けや配線を確認してください。
- 本機はDC-DCコンバータを電源に使用しておりますので、大出力時には大量の電流を消費します。バッテリー上がりを避ける為に、必ずエンジンをかけて使用してください。特に夜間のヘッドライト点灯時など、他の電装品使用時は、音量を下げて使用してください。

—取り付け場所について—

アンプの取り付けは、安全でしっかり固定できる場所を選んで取り付けてください。アンプは必ずアースの取れる位置を選んでください。

⚠️ 注意

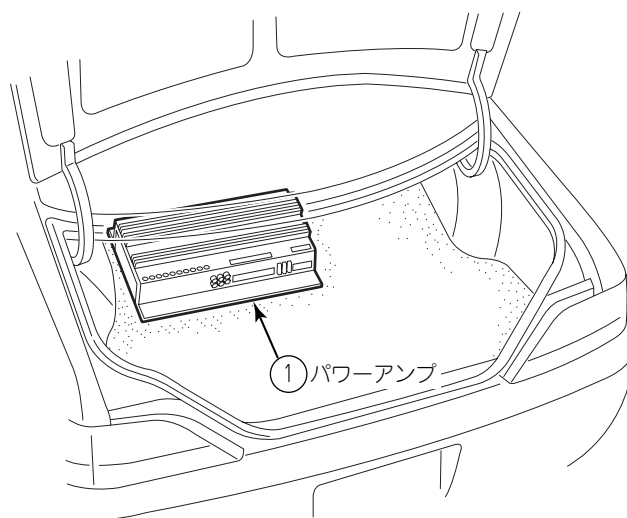
雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

—アンプの取り付けについて—

アンプをトランクルーム内の安定した場所に取り付けます。

⚠️ 注意

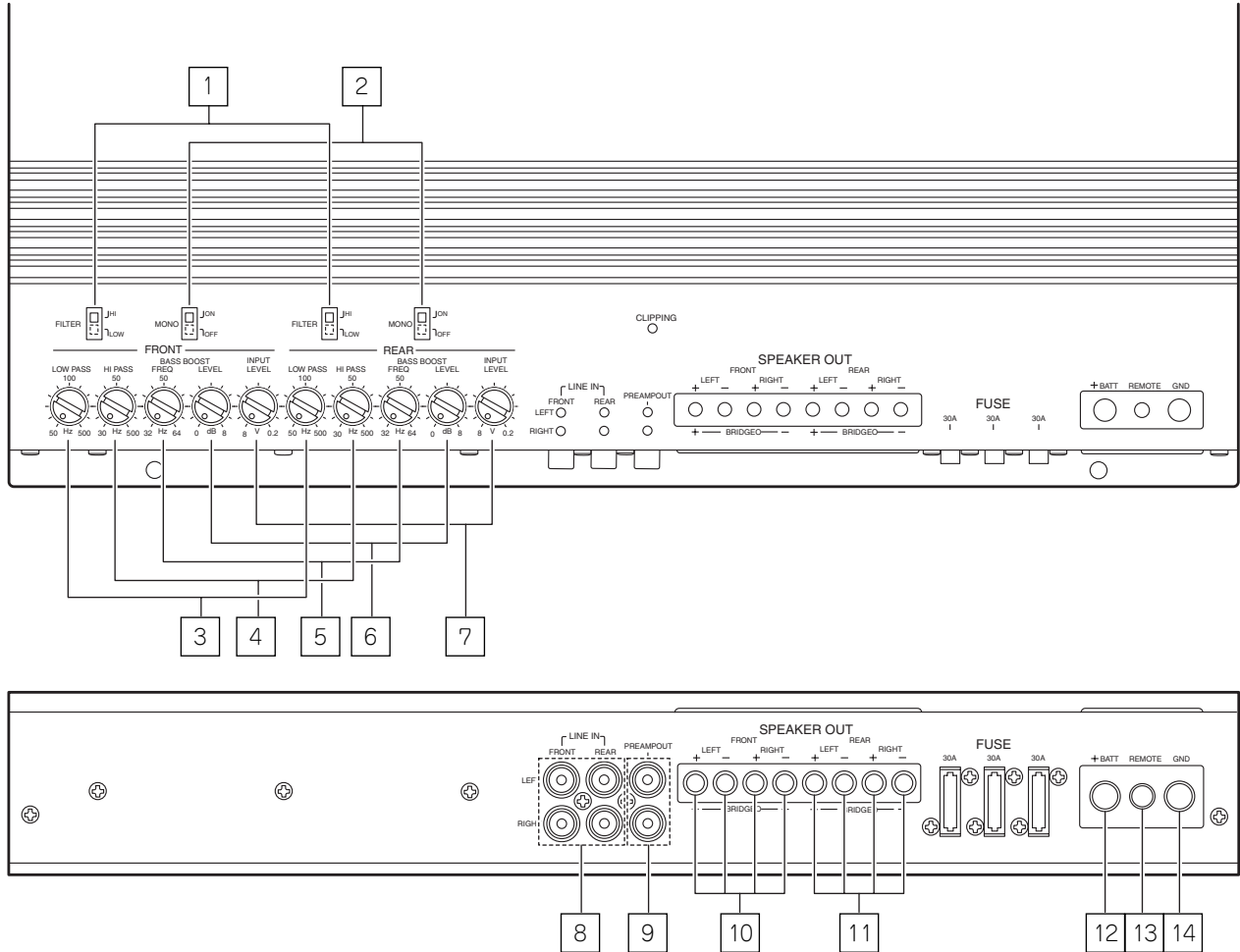
アンプは高温になるためアンプ本体の上には、物をおかないでください。火災や火傷の原因となることがあります。



各部の名称と働き

👉 アドバイス

- 本機を使用する前に使用するスピーカと再生周波数を決めてください。
- 調整ボリュームの調整および切り替えスイッチは、先の細いマイナスドライバーなどで丁寧に行ってください。



1 HIGH・LOW PASS切り替えスイッチ

(フロント、リア) 初期値：HI

お好みによりフロント、リアのHIGH PASS、LOW PASSを切り換えてください。

2 モノラル切り替えスイッチ

初期値：OFF

お好みによりフロント、リアの出力をモノラルに切り換えてください。

3 LOW PASS 調整ボリューム

LOW PASS FILTERのカットオフ周波数を設定します。

このボリュームで設定する周波数以下が出力されます。(50Hz～500Hzの範囲)

※：FILTERスイッチがLOWポジション時のみ有効です。

4 HI PASS 調整ボリューム

HI PASS FILTERのカットオフ周波数を設定します。

このボリュームで設定する周波数以上が出力されます。(30Hz～500Hzの範囲)

※：FILTERスイッチがHIポジション時のみ有効です。

5 BASS BOOST 周波数調整ボリューム

増強する周波数を選択します。

6 BASS BOOST 調整ボリューム

BASS BOOST 周波数調整ボリュームで選んだ周波数のレベルを増強するボリュームです。

7 INPUT 調整ボリューム

アンプの入力感度を調整します。スピーカ出力レベルが低い時は0.2V側に、大きすぎる時は8V側に回してください。

8 ライン入力端子

メインユニット(別売)のLINE OUT端子を接続します。

9 プリアンプ出力端子

LINE OUT端子を使用する場合に接続します。
※：フロントとリアをミックスして出力します。

また[7] INPUT 調整ボリュームとは、連動していません。

10 フロントスピーカ出力端子

フロントスピーカを接続します。

※：モノラル接続の際は、(L+、R-)間にスピーカを接続します。

11 リアスピーカ出力端子

リアスピーカを接続します。

※：モノラル接続の際は、(L+、R-)間にスピーカを接続します。

12 バッテリー電源端子 (+BATT)

必ずバッテリーの⊕端子に接続します。

13 システムコントロール電源端子 (REMOTE)

組み合わせる製品のコントロール電源端子に接続します。

14 アース端子 (GND)

車のボディーアースが確実に取れる所へ取り付けます。

接続例



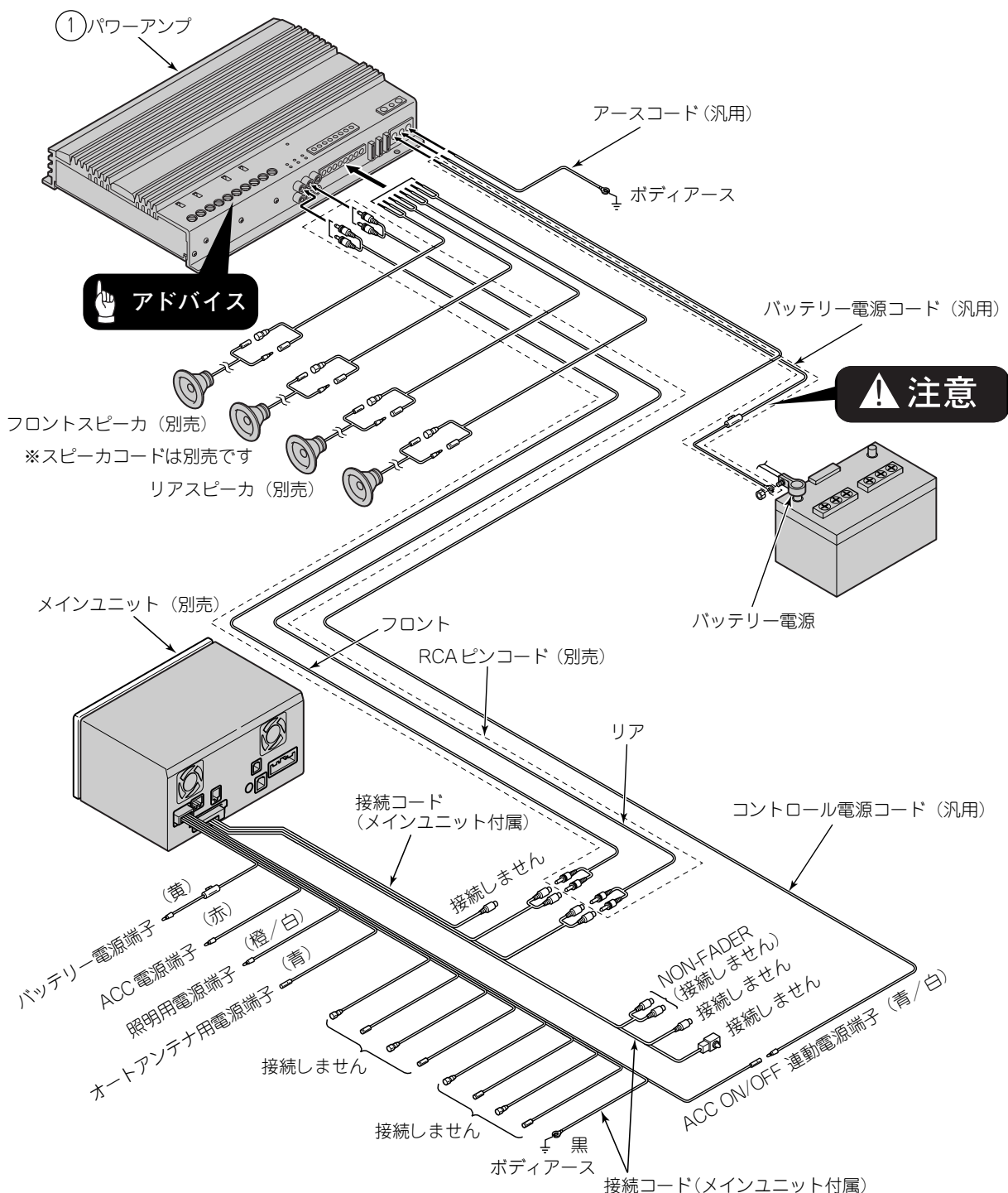
警告

- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

アドバイス

- メインユニットに接続する前にスピーカの取付及び配線を行ってください。
- 機種によりメインユニットの背面端子が異なります。必ず、接続するメインユニットの取付要領書を参照してください。

—4chシステムの場合—

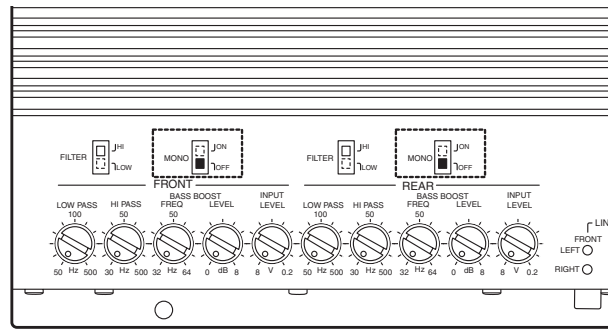


⚠ 注意

バッテリー電源コードは、アンプ本体のヒューズ容量よりも大きいものを使用してください。
また、バッテリーからすぐ近くに必ずコード容量に合ったヒューズを接続してください。
指定外のものを使用すると、リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

👉 アドバイス

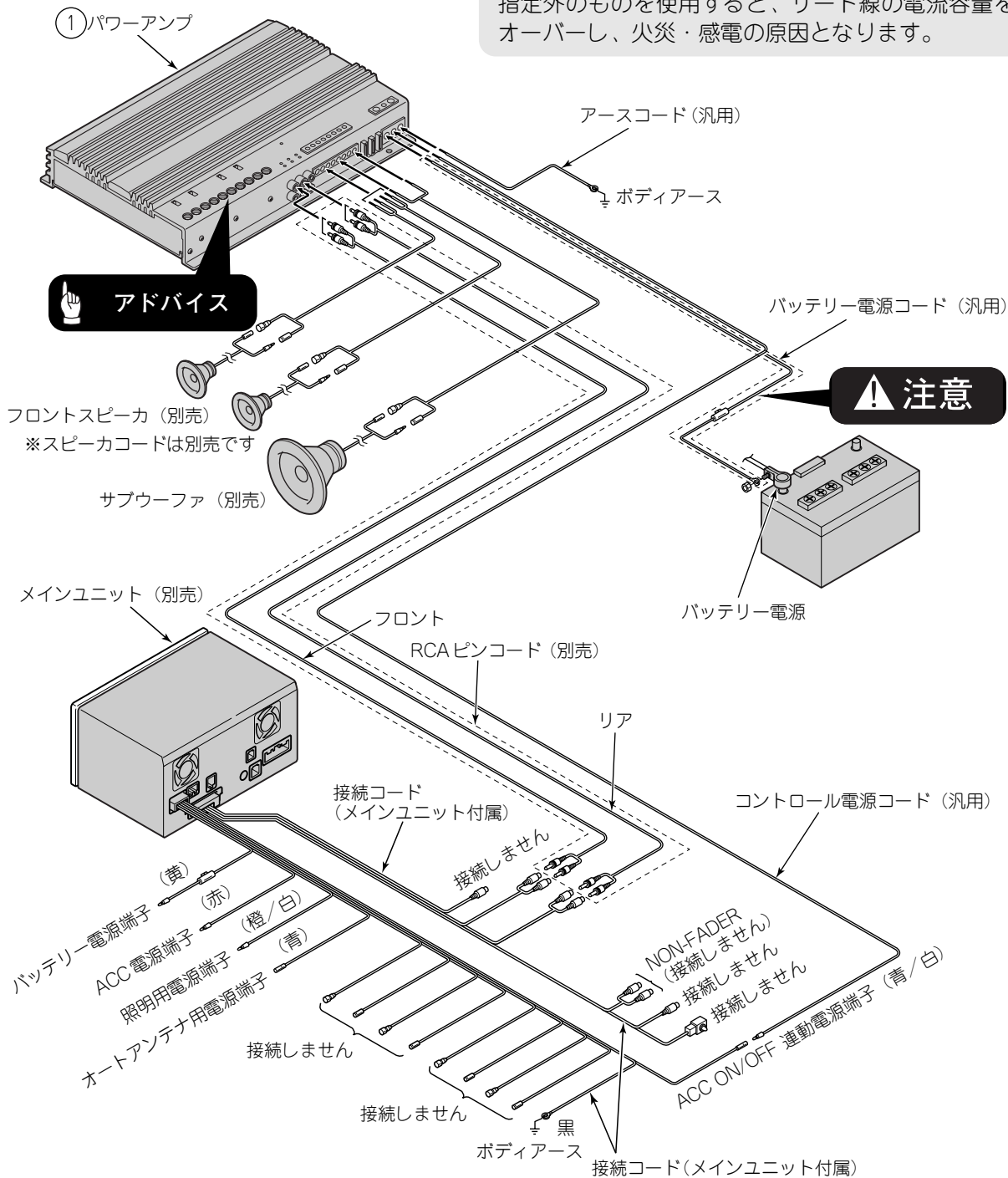
- FRONT・REARモノラル切換スイッチをOFFに切り換えてください。
- HI・LOW PASS FILTERは、お好みにより切り換えてください。同時にゲイン調整もINPUTボリュームで行ってください。
アンプを破損から守るため、INPUTボリュームは既定値を上まわる値で作動させないでください。



— 3ch システムの場合 —

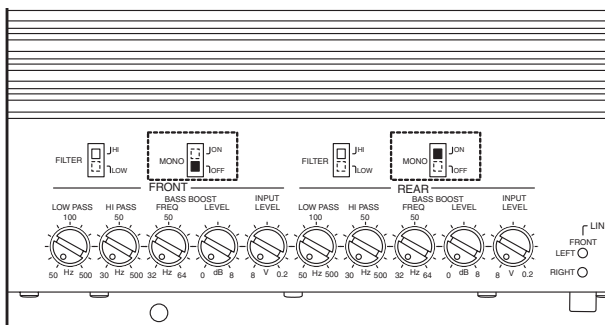
⚠ 注意

バッテリー電源コードは、アンプ本体のヒューズ容量よりも大きいものを使用してください。また、バッテリーからすぐ近くに必ずコード容量に合ったヒューズを接続してください。指定外のものを使用すると、リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



👉 アドバイス

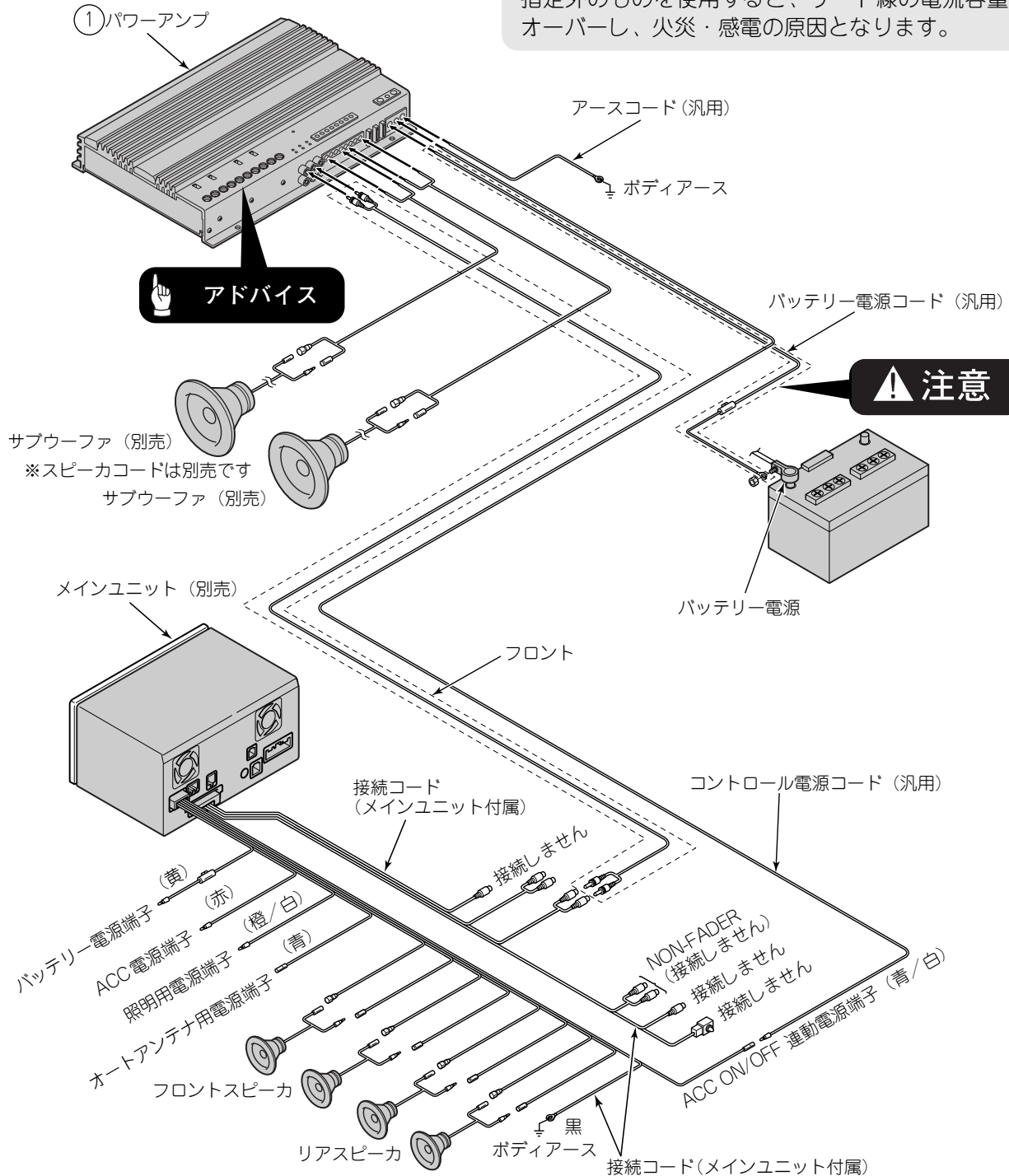
- モノラル切換スイッチをFRONTをOFFに、REARをONに切り換えてください。
- HI・LOW PASS FILTERは、お好みにより切り換えてください。同時にゲイン調整もINPUTボリュームで行ってください。アンプを破損から守るため、INPUTボリュームは既定値を上まわる値で作動させないでください。



サブウーファを使う場合

注意

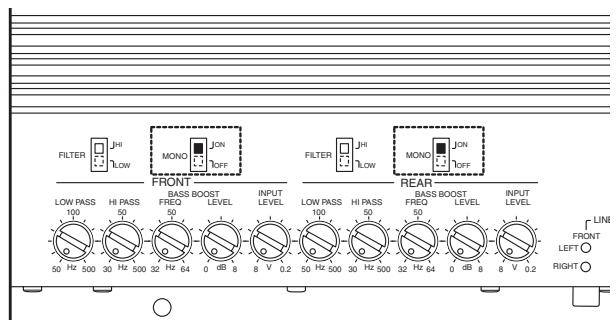
バッテリー電源コードは、アンプ本体のヒューズ容量よりも大きいものを使用してください。
また、バッテリーからすぐ近くに必ずコード容量に合ったヒューズを接続してください。
指定外のものを使用すると、リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



注意

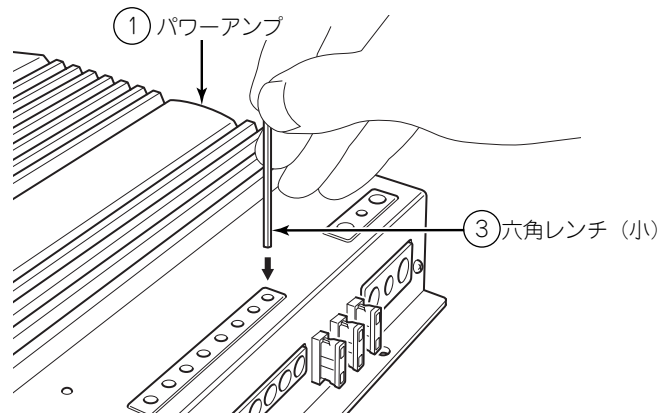
アドバイス

- FRONT、REAR モノラル切換スイッチを ON に切り換えてください。
- HI・LOW、PASS、FILTER は、お好みにより切り換えてください。同時にゲイン調整も INPUT ボリュームで行ってください。アンプを破損から守るため、INPUT ボリュームは既定値を上まわる値で動作させないでください。

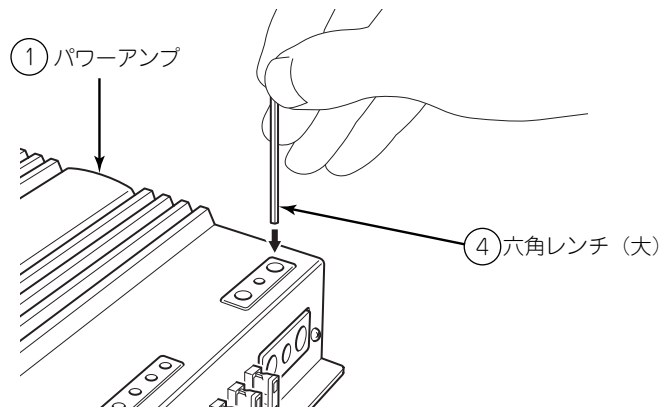


👉 アドバイス

- 各スピーカコードとコントロール電源コードの接続は、六角レンチ（小）で行ってください。



- バッテリー電源コードとアースコードの接続は、六角レンチ（大）で行ってください。



パワーアンプの取り付け

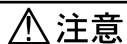
取り付け上のご注意



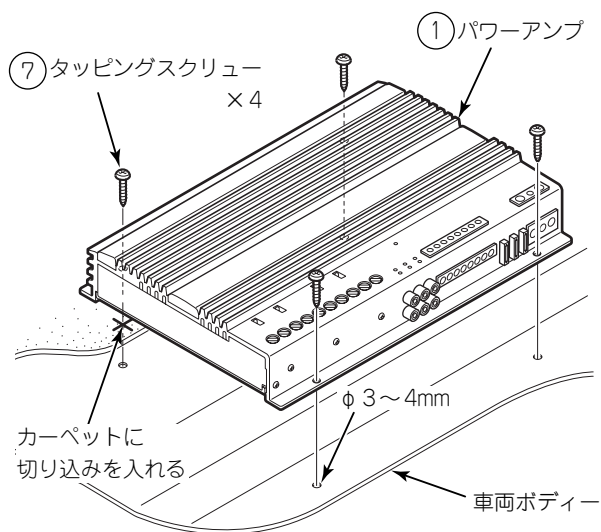
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。

—取り付け例—

- 1 カーペットに切り込み（4ヶ所）を入れ、車両ボディーに取付穴位置をマーキングする。
- 2 車両ボディーのマーキング位置にφ3～4mmの穴（4ヶ所）をあける。
- 3 パワーアンプをタッピングスクリューで車両に取り付ける。

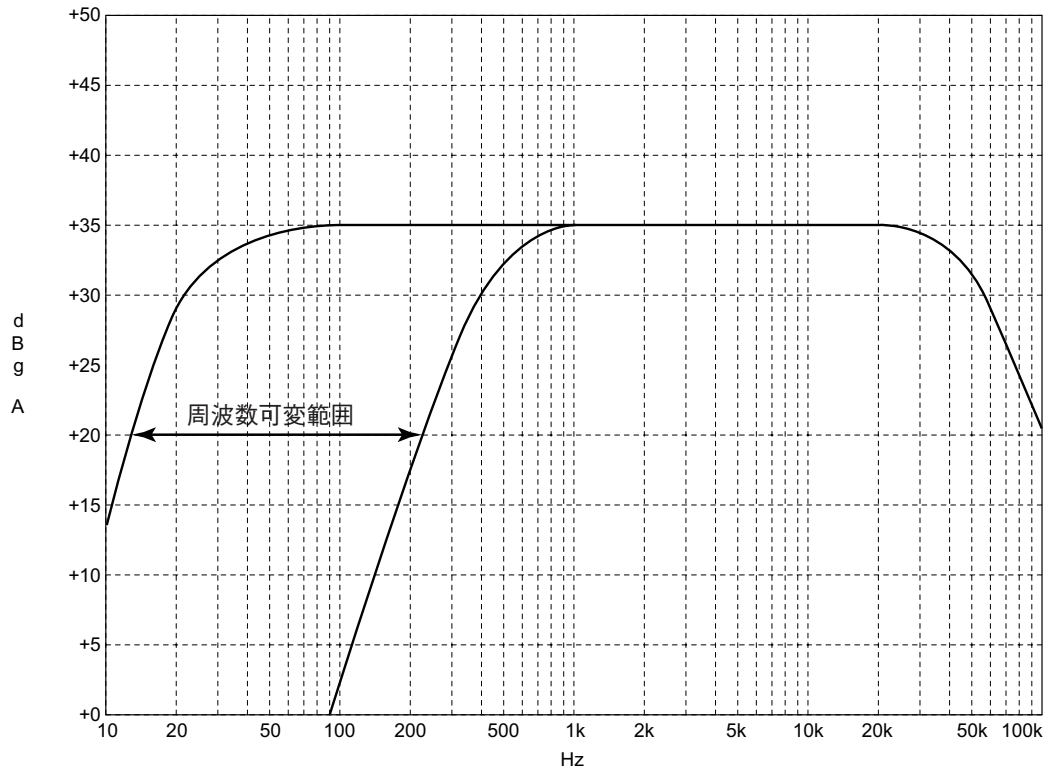


本体の取り付けは、必ず付属の取付ネジを使用して確実に固定してください。

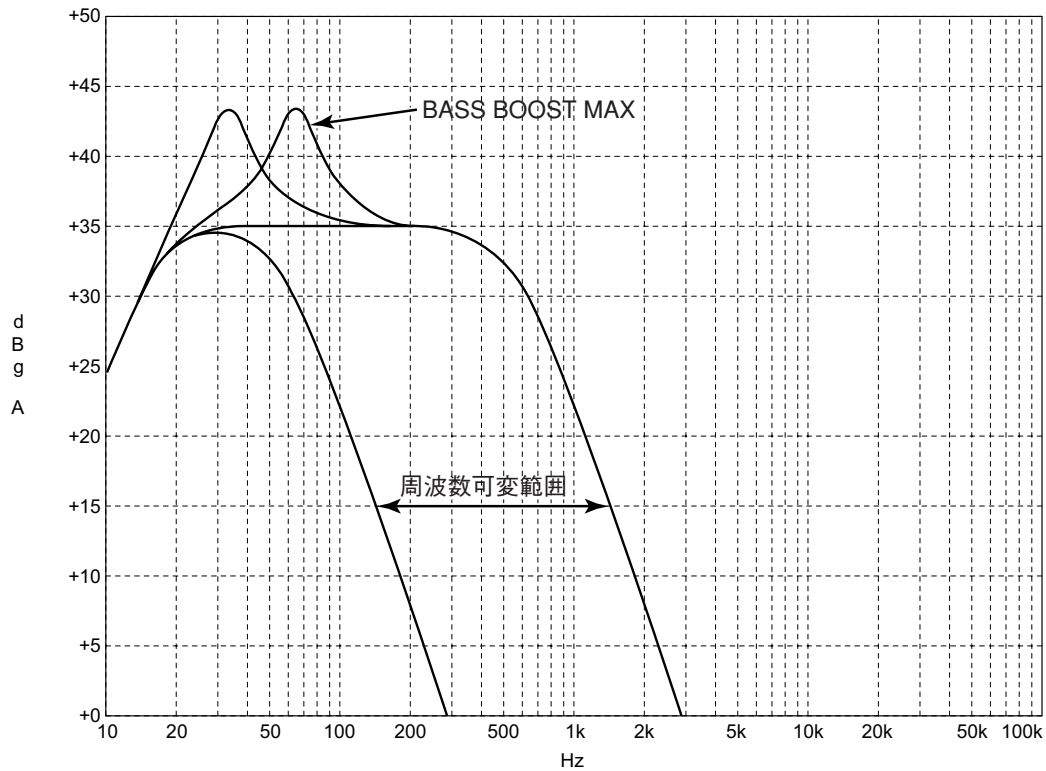


周波数特性グラフ

■ HIGH PASS フィルタ特性



■ LOW PASS フィルタ特性



電 圧 電 源	:	DC14.4V マイナスアース専用
消 費 電 流	:	約90A (最大出力時)
出 力	:	[4 ch時] 4 Ω : 125W × 4ch 4 Ω Bridged : 350W × 2ch
全 高 調 波 歪 率	:	0.05 %
S N 比	:	100dB以上
周 波 数 特 性	:	4 Ωステレオ 20Hz～20kHz ± 1dB
入 力 感 度	:	0.2～8V
入力インピーダンス	:	20k Ω
LOW PASS周波数特性	:	50～500Hz
HIGH PASS周波数特性	:	30～500Hz
サブソニックフィルタ	:	18Hz (18dB/oct)
BASS BOST	:	0～8dB (32～68Hz)
外 形 寸 法	:	幅400mm × 高さ59mm × 259mm
質 量	:	約4.74kg (付属品含まず)

